

アジア原子力協力フォーラム（FNCA） 「2021スタディ・パネル」の開催について

令和3年3月2日
内閣府
原子力政策担当室

令和3年3月3日～4日、オンラインにて、アジア原子力協力フォーラム（FNCA）「2021スタディ・パネル」を下記のとおり開催する。

FNCA参加国地域における原子力エネルギーや原子力利用が高まるにつれ、参加国は、発電の導入に際し、法的整備や人材育成など、適切な原子力発電基盤整備は重要であるとの認識を共有してきた。新型コロナウイルスの影響により、昨年のスタディ・パネルは中止としたが、今年は、加盟国からの要望により、主題を「原子力同位体技術と気候変動」として発表と議論を予定。

1. 主 催
内閣府・原子力委員会
2. 開催日時
令和3年3月3日（水）17:00-19:35
4日（木）12:00-14:30
3. 開催場所
オンライン
（※国内会場として、フクラシア丸の内オアゾ16階 Hall B を用意）
4. 参加予定国
オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本※、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム、他に招待講演者がスロバキアから参加

※ 日本からは、上坂充原子力委員会委員長及び佐野、中西両原子力委員、千原内閣府大臣官房審議官、和田智明 FNCA 日本コーディネーター他が出席予定。また、日本の同分野における有識者及び海外からの参加加盟国代表、基調講演者としてコメンスキー大学のパベル・ポビネック教授（元 IAEA モナコ海洋研究所在勤）他出席予定。

アジア原子力協力フォーラム（FNCA） 「2021スタディ・パネルプログラム」

日 付：令和3年3月3－4日
場 所：オンライン
（国内会場：フクラシア丸の内オアゾ 16階 Hall B）
主 催：内閣府・原子力委員会

令和3年3月3日（水）

プレスオープン部分（17:00～18:25）

セッション1：開会（17:00～17:15）

- ・開会宣言 佐野原子力委員会委員（会合議長）
- ・挨拶 上坂原子力委員会委員長
- ・参加者自己紹介
- ・アジェンダ確認

セッション2：基調講演（17:15～18:25）

（モデレータ：中西原子力委員会委員）

「気候変動トレーサーとしての放射性同位元素」

（大気圏～生物圏～海洋圏研究から）

Pavel Povinec コメンスキー大学（スロバキア）教授

「原子力科学による環境変動監視」

（放射分析から質量分析への移行）

廣瀬勝己 富士山環境研究センター 主任研究員

セッション3：水圏セッション（18:25～18:55）

（モデレータ：青山道夫 筑波大学客員教授）

- ・リードスピーチ「加速器質量分析による環境中の極微量放射性核種測定とその応用」
坂口綾 筑波大学准教授
- ・国別レポート：中国、インドネシア、フィリピン

令和3年3月4日(木)

セッション4：陸圏セッション(12:00~13:10)

(モデレータ：中西原子力委員会委員)

- ・リードスピーチ「大陸圏物質の放射能監視とデータ品質管理」
San-Han LEE 韓国標準科学研究院 主任研究員
- ・国別レポート : カザフスタン、マレーシア、タイ

セッション5：食品安全と農業セッション(13:10~14:20)

(モデレータ：Hendrik HEIJNIS オーストラリア国立大学(ANU)教授)

- ・リードスピーチ「食品安全、食品由来と農業に関する21世紀の原子力科学
と研究」
Debashish MAZMDER
オーストラリア原子力科学・技術機構(ANSTO)
- ・国別レポート : バングラデシュ、モンゴル、ベトナム

セッション6：閉会セッション(14:20~14:30)

佐野委員による閉会の辞